コースコード：RH-EX294
税込価格：55,000円 (税抜価格：50,000円)
日数：1日間

前提条件

・Red Hat 認定システム管理者 (RHCSA) を取得済みであることが、Red Hat 認定エンジニア (RHCE) を取得するために必要です。 ・Red Hat システム管理 I (RH124) と Red Hat システム管理 II (RH134) の両方、または RHCSA 速習コース (RH199) を受講済み、または Red Hat Enterprise Linux のシステム管理者として同等の業務経験を有する ・Red Hat システム管理 III: Linux Automation with Ansible (RH294) を受講済みであるか、同等の実務経験を有する ・RHCSA 認定試験 (EX200) の試験内容を確認する ・Red Hat Enterprise Linux 8 向け RHCE 認定試験 (EX294) の試験内容を確認する ・無料のスキルチェック (https://www.redhat.com/rhtapps/assessment/) を受けて、この試験の準備に最適なコースを確認してください。

受講対象者

・スキルの検証を望む、または組織または通達 (DoD 8570 指令) の要請により資格が必要な、熟練した Red Hat Enterprise Linux システム管理者
・Red Hat システム管理 III: Linux Automation with Ansible (RH294) を受講済みで、Red Hat 認定エンジニア (RHCE) を目指す受講者
・Red Hat 認定アーキテクト (RHCA) を目指す受講者
・複数のシステムを管理する能力を実証したいシステム管理者
・DevOps 環境で作業し、ワークロードの一部を自動化する能力を実証したい IT プロフェッショナル
・資格が最新ではない、またはまもなく最新ではなくなるので RHCE として再認定を望む Red Hat 認定エンジニア
・現在 RHCSA 認定を取得済みで、RHCE 認定の取得に関心がある Linux IT 担当者

コース概要

実技形式の Red Hat Enterprise Linux 8 向け RHCE 認定試験 (EX294) では、Red Hat® Ansible® Automation Platform を使用して複数のシステムを管理し、Ansible で多数のシステムで一般的なシステム管理タスクを実行するための知識とスキルを試験します。この認定試験で試されるスキルは、多数の Red Hat 製品のシステム管理の基礎をなすものです。

この試験に合格すると、Red Hat 認定エンジニアに認定されます。RHCE® は、Ansible とスクリプトを使用した Red Hat® Enterprise Linux® タスクの自動化、Red Hat の先進テクノロジーの統合、効率とイノベーションに向けた自動化の適用のスキルを備えた Red Hat 認定システム管理者 (RHCSA) を指します。RHCE 認定を取得するには、RHCSA 認定が必要です。RHCE の取得以降も学習を継続する受講者については、最高レベルの認定である Red Hat 認定アーキテクトの取得に向けた学習パスの基礎ステップにもなります。

この試験は Red Hat Enterprise Linux® 8.4 および Red Hat Ansible Automation Platform 1.2 に基づいています。

目的

RHCE認定試験に合格する

アウトライン

RHCE 試験の受講者は、Red Hat
認定システム管理者が担当する、以下のようなタスクをすべて処理できることが前提となります。

Red Hat 認定システム管理者として担当するすべてのタスクを実行する能力
・基本的なツールの理解と使用
・稼働中のシステムの運用
・ローカルストレージの設定
・ファイルシステムの作成と設定
・システムのデプロイ、設定、保守
・ユーザーとグループの管理
・セキュリティの管理

Ansible のコアコンポーネントの理解
・インベントリー
・モジュール
・変数
・ファクト
・Play
・Playbook
・設定ファイル
・提供されたドキュメントを使用した、Ansible モジュールとコマンドに関する特定の情報の検索

Ansible 制御ノードのインストールと設定
・必要なパッケージのインストール
・静的ホスト・インベントリー・ファイルの作成
・設定ファイルの作成
・ホストのグループを定義するための静的インベントリーの作成と使用
・並列処理の管理

Ansible 管理対象ノードの設定
・SSH キーを作成して管理対象ノードに配布
・管理対象ノードで特権エスカレーションを設定
・Ansible のアドホックコマンドを使用して作業用設定を検証

管理タスクのスクリプト作成
・シンプルなシェルスクリプトの作成
・Ansible のアドホックコマンドを実行するシンプルなシェルスクリプトの作成

Ansible の Play と Playbook の作成
・一般的に使用される Ansible モジュールの活用方法についての知識
・変数を使用したコマンド実行結果の取得
・条件文を使用した Play の実行制御
・エラー処理の設定
・システムを特定の状態に設定するための Playbook の作成

以下に対応するシステム管理作業に Ansible モジュールを使用
・ソフトウェアパッケージとリポジトリ
・サービス
・ファイアウォールルール
・ファイルシステム
・ストレージデバイス
・ファイルコンテンツ
・アーカイブ
・スケジュールされたタスク
・セキュリティ
・ユーザーとグループ

Role を使用した作業
・Role の作成

・Ansible Galaxy からの Role のダウンロードと使用

高度な Ansible 機能の使用
・カスタム設定ファイルを作成するためのテンプレートの作成と使用
・Playbook で Ansible Vault を使用した機密データの保護

Red Hat のすべての実技試験と同様に、再起動後も自動で設定が維持されるようにする必要があります。